

第38期 令和6年度 安全衛生 基本方針

37期は休業4日以上的人身事故は0件で、前期に比べ件数では3件減りました。また37期では重点目標としていた、毎年途切れる事なかった車両事故が0件で、社員みんなが安全運転に対する意識を高めた成果だと思えます。

38期も不安全状態や不安全行動の排除に取り組み、危険ゼロを目指して、一人一人の意識を向上させるための活動を引続き行っています。

衛生面においてはコロナが5類に引下げられはしたが、インフルエンザも含め感染者が多く終息は見えない中で、引続き感染症予防対策に取り組み、ワクチン接種も取入れながら健康で仕事ができる職場環境作りを構築していきます。

スローガン

38期 『安全衛生の意識向上でゼロ災職場』

第38期安全重点目標

1. 車両事故の防止

- ・飲酒運転撲滅
- ・始業前点検の実施
- ・交通ルールとマナーの遵守
- ・誘導員の適正配置、誘導(車両後退時)
- ・運転者の健康確認(現場出発前・作業時)
(車両点検簿に、健康チェック項目を追加し、セルフチェック実施)
- ・防衛運転の励行
- ・輪止の実施
- ・運転時のスマホ・カーナビ使用禁止
- ・運転者の運転前後のアルコールチェッカーによるアルコールチェック

2. 墜落転落事故の防止

- ・墜落抑止用器具の完全使用(フルハーネス)
- ・無胴綱状態の撲滅
- ・高所作業車の優先使用
- ・安全装備・設備の始業前点検の実施
- ・昇降時・作業時には2点以上の支持
- ・開口部の転落防止柵の設置
- ・脚立の適正使用(各現場のルール遵守)
- ・墜落防止装置の完全使用

3. 設備事故の防止

- ・各課元請ルールの遵守。
- ・作業前後のミーティング徹底(作業前危険箇所の相互確認)
- ・作業前養生の実施、養生確認者の配置
(充電部・現用設備)
- ・誤切断・誤接続防止(相互確認を行う)
- ・有資格者及び作業監視人の配置
- ・事前調査の実施(図面照合確認)
元請け工事担当者と施工に関する十分な打合せをします
- ・既設埋設物を確認する場合、所定の深さまで手掘りを実施し、埋設物が確認できない場合は、元請けに連絡し指示を仰ぎます。
- ・掘削時埋設物の確認(刃先確認者の配置と磁器探査の使用)

4. ヒューマンエラーの撲滅

- ・「不安時」、「不明時」、「異常時」は作業を一時中断し責任者への連絡と確認を遵守する。
- ・作業手順、工法教育訓練の実施
- ・作業手順、工法の再確認
- ・指差呼称の徹底
- ・作業前及び終業ミーティング徹底
- ・ダブルチェックの実施・確認

5. 作業環境の整備

- ・幹部パトロール及び合同パトロールの強化
- ・作業場、倉庫内の整理整頓
- ・安全器具(ヘルメット、墜落抑止用器具)の点検、整備
- ・使用工具の点検、整備、記録の実施
- ・屋内作業及び夜間作業での照度の確保
- ・地下作業での検知、連続換気の実施
- ・熱中症対策・防寒対策
- ・テールゲートリフター講習会の実施

6. 心身両面の健康保持

- ・作業員の健康状態確認(作業前ミーティング時)
- ・定期健康診断の完全実施
- ・感染症予防の実施(出勤時の体温測定・管理)
- ・ストレスチェックの実施
- ・インフルエンザ予防接種の支援
- ・感染症対策備品の常備(マスク、消毒用アルコール、その他)

7. 感電事故の防止

- ・絶縁用保護具の着用
- ・検電の完全実施
- ・強電部(充電部)との離隔確保及び養生の実施
- ・絶縁用保護具の定期点検の実施
- ・特殊車両の車体接地
- ・昇柱防止器の取付(トランス下部)

第38期 月間安全目標

2024 4月	作業環境の整備	10月	心身両面の健康保持
5月	車両事故の防止	11月	墜落転落事故の防止
6月	ヒューマンエラーの撲滅	12月	車両事故の防止
7月	作業環境の整備	2025 1月	設備事故の防止
8月	感電事故の防止	2月	墜落転落事故の防止
9月	設備事故の防止	3月	ヒューマンエラーの撲滅